

7 金融

(1) 金融機関預貸残高

(ア) 金融機関預金残高

県内金融機関(銀行、第二地銀、信用金庫、信用組合)の平成17年末における預金残高総額は6兆1,254億円、対前年比0.5%となった。法人向け預金は前年を下回っているが、個人預金が続く堅調に増加していることから3年連続で前年を上回った(図61-1、図61-2)。

金融機関別県内預金残高の寄与度でみると、「第二地銀」が堅調に残高を伸ばしプラスに寄与している。また、「銀行」、「信用組合」もプラスに寄与した。一方、「信用金庫」は僅かにマイナスに寄与している(図63)。

【預金残高】

預金残高の増減率は金融機関の信用力を示します。経営破綻が相次いで信用不安が起きれば、預金が流出します。具体的な近年の例としては、法人預金は売上げ低迷による余資の減少や、預貸相殺の動きが続くと減少し、個人預金は収入が落ち込むと減少します。増加する理由には逆のことが言えます。

(イ) 金融機関貸出残高

平成17年末における貸出残高総額は、3兆8,873億円、対前年比1.0%となった。個人向け住宅ローンが堅調なうえ、地方公共団体向け貸出が増加していることから4年振りに前年を上回った(図62-1、図62-2)。

金融機関別県内金融貸出残高の寄与度でみると、「第二地銀」、「信用金庫」、「信用組合」はマイナスに寄与しているが、それ以上に銀行のみ大きくプラスに寄与したため、全体として前年を上回る結果となった(図64)。

【貸出残高】

景気拡大期には企業が設備投資を増やし、資金需要が拡大するため貸出残高は増加します。また、銀行の貸出余力が増えれば貸出残高は増加します。具体的な近年の例としては、法人向けは企業が新規借入よりも債務の返済を優先させたり、金融機関が不良債権処理を優先させたりすると、貸出は減少します。個人向けは住宅ローン等が堅調だと増加します。

【 金融機関預貸残高の推移 】

図61-1 金融機関預金残高

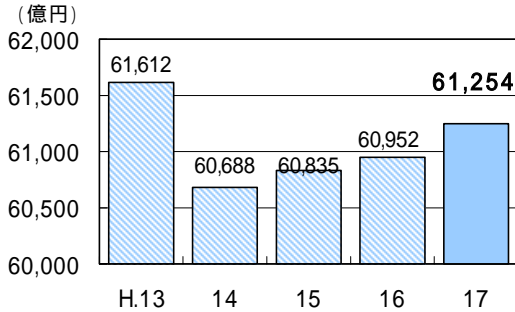


図62-1 金融機関貸出残高

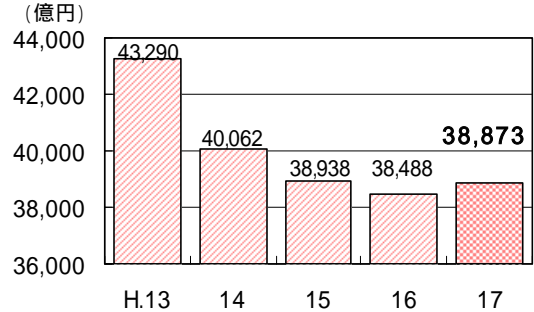


図61-2 対前年比

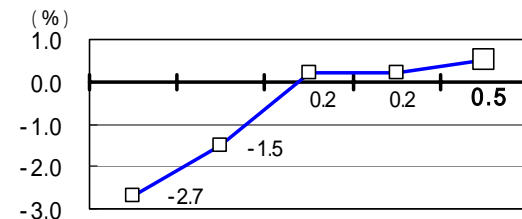
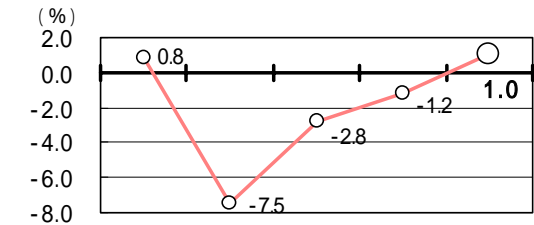


図62-2 対前年比



備考 1 (資料: 日本銀行福島支店資料により作成)

【 金融機関預貸残高の寄与度の推移 】

図63 金融機関預金残高(寄与度)

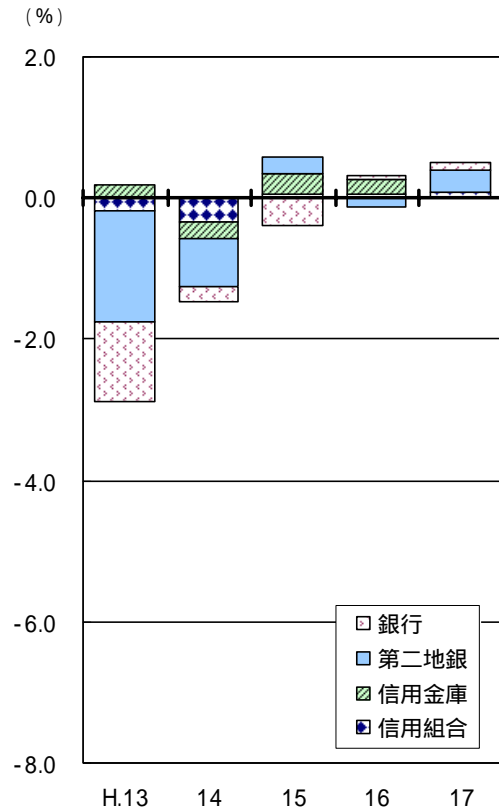
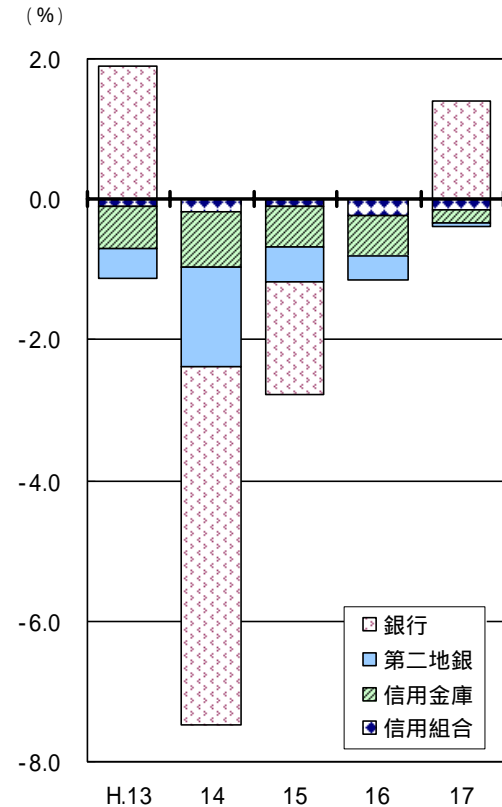


図64 金融機関貸出残高(寄与度)



備考 1 (資料: 日本銀行福島支店資料により作成)

指標は、P.87 ~ P.88に掲載

(2) 貸出約定平均金利

平成17年末における**貸出約定平均金利**は、地方銀行で2.075%、対前年差0.102ポイント低下、信用金庫は2.778%、対前年差0.052ポイント低下となり、**緩やかな低下傾向で推移した(図65)**。

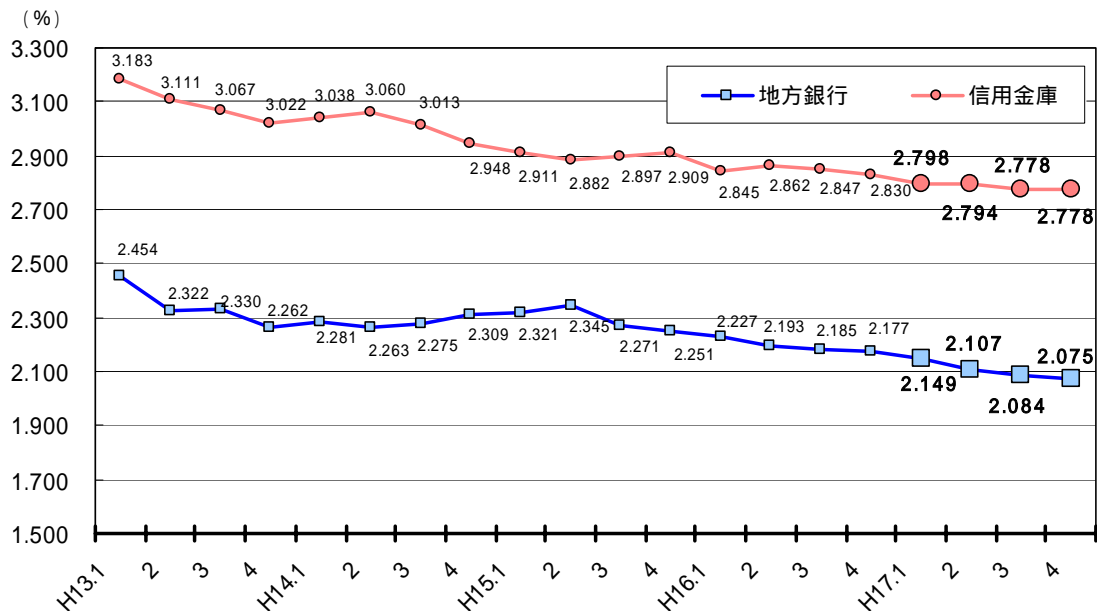
一方、日本銀行福島支店「全国企業短期経済観測調査(福島県分)」により貸出態度判断DIをみると、企業からみた金融機関の貸出態度は製造業を中心に緩くなり、全産業でみても厳しさが徐々に弱まり、改善傾向で推移した(図66)。

【貸出約定平均金利】

金融機関が過去に貸し出しを行った際の貸出金利を現在の貸出残高で加重平均したものです。銀行融資の金利が現実にはどのくらいになっているかを示す指標です。

【 貸出約定平均金利の推移 】

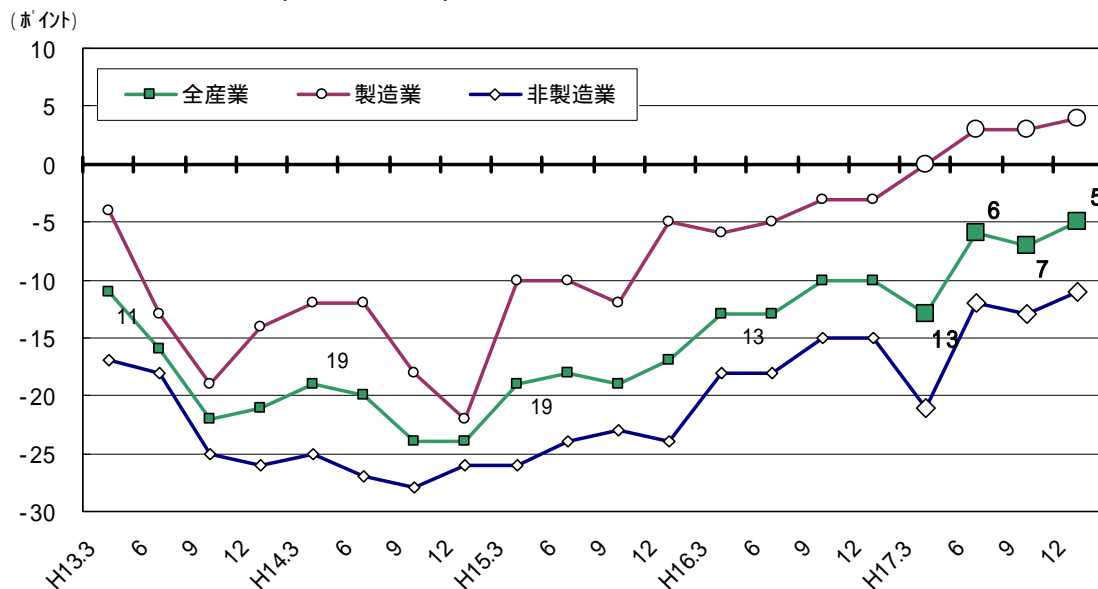
図65 金融機関別貸出約定平均金利



備考 1 (資料:日本銀行福島支店「福島県金融経済概況」より作成)

【 参考 】

図66 貸出態度判断DI(緩い - 厳しい)



備考 1 (数値は全産業値)

2 (資料:日本銀行福島支店「全国企業短期経済観測調査」より作成)

指標は、P.88、P.90に掲載